

# ●国民審査を受ける最高裁判所裁判官

■最高裁のホームページ「最高裁の裁判官」も参照してください

<https://www.courts.go.jp/saikosai/about/saibankan/index.html>



×	<p>みやま たくや <b>深山 卓也</b> 67歳 2018年1月就任</p>		<p>【経歴】 東京大学法学部卒業、94年東京地裁判事、01年法務省大臣官房参事官、10年東京高裁判事、17年東京高裁長官 【関与した裁判】 20年辺野古判決では裁判長として棄却、2019参院選一票の格差では合憲、21年夫婦別姓では合憲の判断。</p>
	<p>みうら まもる <b>三浦 守</b> 64歳 2018年1月就任</p>		<p>【経歴】 東京大学法学部卒業、00年法務省大臣官房参事官、10年最高検検事、法務省矯正局長、15年札幌高検検事長、17年大阪高検検事長 【関与した裁判】 2019参院選の一票の格差では多数意見に同意しつつ違憲状態、21年夫婦別姓では違憲の判断。</p>
	<p>くさの こういち <b>草野 耕一</b> 66歳 2019年2月就任</p>		<p>【経歴】 東京大学法学部卒業、86年ハーバード大学修士、07年東京大学大学院法学政治学研究科客員教授、14年ハーバード大学法科大学院客員教授、18年東京大学博士 【関与した裁判】 2019年参院選の一票の格差では合憲、21年夫婦別姓では違憲の判断。</p>
	<p>うが かつや <b>宇賀 克也</b> 66歳 2019年3月就任</p>		<p>【経歴】 東京大学法学部卒業、91年東京大学大学院法学政治学研究科助教授、98年ジョージタウン大学ロースクール客員研究員、04年東京大学公共政策大学院教授 【関与した裁判】 2019参院選の一票の格差では違憲、20年袴田再審では最高裁による再審の意見、21年夫婦別姓では違憲の判断</p>
×	<p>はやし みちはる <b>林 道晴</b> 64歳 2019年9月就任</p>		<p>【経歴】 東京大学法学部卒業、92年東京地裁判事、02年東京高裁判事、14年東京高裁判事部総括、最高裁首席調査官、18年東京高裁長官 【関与した裁判】 2019参院選一票の格差では合憲、21年夫婦別姓では合憲の判断。</p>
×	<p>おかむら かずみ <b>岡村 和美</b> 63歳 2019年10月就任</p>		<p>【経歴】 早稲田大学法学部卒業、89年米国ニューヨーク州弁護士登録、00年東京地検検事、14年最高検検事、年法務省人権擁護局長、16年消費者庁長官 【関与した裁判】 2019参院選一票の格差では合憲、21年夫婦別姓では合憲の判断。</p>
×	<p>ながみね やすまさ <b>長嶺 安政</b> 67歳 2021年2月就任</p>		<p>【経歴】 東京大学教養学部卒業、外務省入省、07年在サンフランシスコ総領事、12年特命全権大使 オランダ国駐劄、16年特命全権大使 大韓民国駐劄、19年特命全権大使 英国駐劄 【関与した裁判】 21年夫婦別姓では合憲の判断。</p>
	<p>やすなみ りょうすけ <b>安浪 亮介</b> 64歳 2021年7月就任</p>		<p>【経歴】 東京大学法学部卒業、93年神戸地裁判事、07年東京高裁事務局長、10年東京地裁部総括、11年最高裁人事局長、14年静岡地裁所長、16年東京高裁部総括、18年東京地裁所長、大阪高裁長官</p>
	<p>わたなべ えりこ <b>渡邊 恵理子</b> 62歳 2021年7月就任</p>		<p>【経歴】 東北大学法学部卒業、94年ワシントン州立大学ロースクール修了、04年慶應義塾大学法科大学院教授、19年司法試験考査委員、20年国立大学法人お茶の水女子大学監事</p>
	<p>おか まさあき <b>岡 正晶</b> 65歳 2021年9月就任</p>		<p>【経歴】 東京大学法学部卒業、05年東京大学法科大学院講師、15年第一東京弁護士会会長、18年住友生命保険相互会社社外取締役、19年株式会社三井住友銀行社外取締役</p>
	<p>さかい とおる <b>堺 徹</b> 63歳 2021年9月就任</p>		<p>【経歴】 東京大学法学部卒業、96年東京地検検事、05年大阪高検検事、10年東京地検特別捜査部長、16年東京地検検事正、20年東京高検検事長</p>

# 憲法・人権軽視には **×** 印を!

## もう一つの総選挙 裁判官国民審査

10月31日は総選挙の投票日です。投票所では小選挙区、比例区の投票用紙とともに3枚目の紙—「最高裁裁判官の国民審査」の投票用紙が渡されます。華々しい選挙戦に隠れて、とすればこの投票を忘れがちではないでしょうか。

最高裁判所は司法の最高機関であり、その判断次第で私たちの生命や財産、権利にも大きく影響します。最高裁裁判官国民審査は、主権者である私たちが裁判官の判断をチェックする重要な機会です。とはいえ、裁判官の経歴、判決内容、憲法や人権に対する考え方などはほとんど知られていないので、多くの人が何も書かずに投票するというのが実情です。何も書かないのは棄権と思う方も大勢います。しかしこの投票制度は、「無印は信任」、「○や△は無効」となります。

私たちは、このきわめて非民主的な審査方法をただすため、審査対象裁判官の十分な情報提供や、○×方式への改善を求めています。改善されていません。投票のやり方や、ルールの説明すら不十分です。

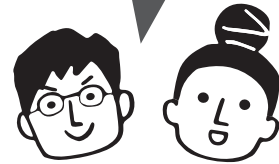
いまの制度では、×をつけることが私たちにできる権利行使です。審査対象裁判官の過去の実績や経歴を検討するとともに、制度自体に対する批判としても「×」を増大させましょう。意見が違うのでやめさせたい裁判官、憲法と人権を守らない裁判官、民主的な改革に逆行する裁判官には×印をつけましょう。

### わからないときは 投票用紙を返しましょう!

昨年から今年にかけて、私たちが注目する以下のような判決・決定がありました。

- 辺野古の海面埋立て承認取り消しをめぐる沖縄県の訴えを棄却 (2020.3.26、全員一致)
- 2019年参院選の一票の格差を合憲と判断 (2020.11.18、違憲の意見あり)
- 袴田事件の再審請求を棄却した高裁決定を取り消す決定 (2020.12.22、最高裁で再審開始すべきという意見あり)
- 夫婦別姓の婚姻届受理を求める訴えを棄却 (2021.6.23、同性は違憲、届けを受理すべきという意見あり)

何も書かないと信任、  
○や△は無効です



### 「夫婦別姓」に係る特別抗告審

「夫婦同姓」：合憲判断「×」 違憲判断「○」

名前	出身	判断	意見の要旨
深山 卓也	裁判官	×	事実婚夫婦が別姓による婚姻届受理を求めた3件の家事審判の特別抗告審で、最高裁大法廷(裁判長・大谷直人長官)は夫婦別姓を認めない民法と戸籍法の規定を「合憲」とし、申し立てを棄却する決定
林 道晴	裁判官	×	
岡村 和美	検察官	×	
長嶺 安政	外交官	×	
三浦 守	検察官	○	申し立ては棄却するが、夫婦同姓は違憲
草野 耕一	弁護士	○	民法などの規定は、婚姻の自由を求める憲法の趣旨に反し違憲で、婚姻届けを受理すべき
宇賀 克也	学者	○	

\*裁判官15人中12人の多数意見で抗告を棄却

## フォーラム平和・人権・環境

